



ロコモティブ症候群の進行度を検査する参加者。

健康 食生活と運動習慣の改善
長寿の秘策を学ぶ

7/10

歩行困難など要介護になるリスクが高まるロコモティブ症候群の予防するため、ザスパクサツ健康づくり教室が市民ホールで開催されました。参加者はロコモティブ症候群を予防する食材を使ったレシピを学び、腕を組んだまま立ち上がる動きなどで症状の進行度を検査しました。



小さな彦星と織姫は無事に会うことができました。

願い 七夕の彦星と織姫に
思いを込めて

7/6

藤岡中央児童館で七夕まつりが開催されました。高崎健康福祉大学アカペラサークルにより、子どもたちにおなじみの歌が、豊かなハーモニーに乗って会場内に響き渡りました。また、たなばたさまをみんなで歌い、七夕にちなんだ参加型の劇もあり、楽しい時間を過ごしました。



真剣な様子で作業をする子どもたち。

科学 光の不思議
科学のおもしろさを体験

6/29

神流公民館でおもしろ科学教室が開催されました。教室では黒い壁(ブラックウォール)があるように見えるのに、その壁をボールがすり抜けてしまう「二段ブラック・ウォール」を作りました。参加した子どもたちは偏光板を使った光のマジックに興味深そうにしていました。



みなさん一人一人の取り組みが必要と呼び掛けます。

尊重 一人一人の豊かな人生のため
重し合う社会を

6/24

男女共同参画週間にあわせて、推進協議会委員が市内のスーパーでパンフレットを配り、啓発活動を行いました。男女共同参画とは「性別によって行動や考え方が限定されることなく自分らしく生きられる社会」のことで、男性も女性も活躍できる社会の実現を呼び掛けました。



紙コップ3つで体を支える実験。

自由 「なぜだろう、不思議だな」をテーマに
研究のヒント

7/20

学習支援教室「理科・社会科自由研究のヒント」が教育庁舎で開催されました。参加した36人の小中学生は、4人の講師から身近な事柄の中から「なぜだろう、不思議だな」と感じたことや、理科の実験を通して「しらべてみたいな」と思ったことをテーマとするコツを学びました。



川の中で魚や水生昆虫を捕まえる。

水辺 希少生物観察会
や草原の生物を探す

7/13

希少生物観察会がかんな川水辺の楽校で開催されました。参加者40人は、水質検査をしたり、川に入って魚や水生昆虫を捕まえたり、草原で昆虫採集したりして、水辺の環境と生物を楽しく学びました。川の中で大きなカジカが捕まると、子どもたちの歓声が上がっていました。



おいしいコーヒーの入れ方を学ぶ参加者。

コ 家でも本格的なコーヒーを
コーヒーの入れ方学ぶ

7/5

藤岡公民館でおいしいコーヒーの入れ方教室が開催されました。参加者はコーヒー豆の種類や保存方法などを学んだ後、ドリップコーヒーの入れ方を学びました。参加者からは「今までのやり方が間違っていた」などの声が聞かれ、自分で入れた本格的なコーヒーを味わっていました。



ゲートが開くと迫力ある放水に大歓声が。

洪水 台風などの季節を控えて
水期前の動作点検

6/30

下久保ダムイベントが開催されました。臨時バスも運行し、県外からも多くの人が訪れました。ゲート動作点検の他、ダムグッズ販売やダムカード配布、特設ステージではダムフェスを開催。下久保発電所見学は人数限定のため整理券待ちの列ができました。